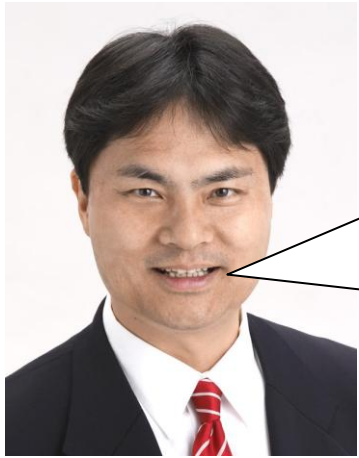


小池としあき後援会だより

平成 25 年 4 月 5 日発行 発行人：勝亦正人（通算第 24 号）



小池としあきが、2月定例議会で、 24回目の一般質問に臨みました！

今回は「**スポーツ・文化行政の市長部局への移管について**」をテーマに質問しました。
スポーツ観光を活かした地域活性化、紙文化や世界遺産登録が間近な富士山文化を活かしたシティプロモーションなどが求められている中で、両部門を教育委員会から市長部局に移管し、積極的に取り組むべきとの考えです。

質問 1 スポーツ・文化行政の市長部局への移管について検討を始めるべきではないか？

① **スポーツや文化・芸術**が教育分野だけでなく、地域振興や高齢社会における健康づくり等の面での比重が高まっている中、**教育委員会から市長部局に移管する検討を始めるべきでは？**

→(市長)現時点において、スポーツ・文化行政を、教育委員会が所管していることによる**デメリットは特にないため、市長部局への移管を前提にした検討を開始することは考えていない。**

② 市長が都市活力再生ビジョンで目玉に掲げる「世界・全国大会レベルのスポーツ大会の開催支援」施策に位置付け、昨年から取り組んでいる**ウルトラトレイル・マウントフジ**は大半の市民は知らない。事務局（スポーツ振興課）が教育委員会にあるため、観光サイド等と連携・協力体制がとれていないのでは？ また教育委員長・教育長への確認等のため、意思決定に時間がかかるのでは？

御殿場市では、市長部局の生活環境部 文化スポーツ課とすることで、市の「売り」であるスポーツツーリズム（スポーツ観光）に迅速に対応できるようになったそうだ。参考にすべきでは？

→(市長)提案は理解できる。状況が変わりつつあることも認識している。必要性が明確になった段階で検討していきたい。

③ (再要望)「**スポーツを活かしたまちづくり**」で打って出るなら、**早めの検討・移管を改めて要望する。**

■24年度から開催されているウルトラトレイル・マウントフジ 富士山の周りを人力のみで走り、歩き続ける トレイルランニングの世界大会

- 《1周コース》 河口湖→富士宮・富士・御殿場・山中湖→河口湖
- 《半周コース》 富士市（こどもの国）→御殿場・山中湖→河口湖
- ・24年度は国内外から約2,000人の選手が参加
- ・25年度は4月26日（金）から開催



ウルトラトレイル・マウントフジ コース図



昨年度の様子を伝える「広報ふじ」の記事 →

ウルトラトレイル・マウントフジ 感動の初開催!!

- 富士市も相当の負担金を支出するからには、2年に一度は「富士市をスタート・ゴール」にするよう要望していくべきです。
- そのためには今まで以上にスポーツ振興課、観光課等が連携して臨み、広報（PR）や宿泊・おもてなし体制の充実を図り交渉していく必要があります。
- 市長の指示の下で、強力に進めなくては成功しません。

質問 2 ..いじめ、体罰、不登校等、教育課題が深刻・多様化している中で、教育委員会が身軽になって「学校教育に特化する」との考え方からも、スポーツ・文化行政は市長部局に移管すべきではないか？

■県内市、全国の特例市におけるスポーツ・文化行政の所管状況

区分	合計	スポーツ行政が市長部局	文化行政が市長部局
県内市	23市	10 (43.5%)	5 (21.7%)
特例市	40市	12 (30.0%)	24 (60.0%)

※特例市は、人口20万人以上で、富士市（約26万人）と同様規模の都市で、現在、全国に40市ある。

① **教育委員会の所管が広すぎるのではないか？**

→(教育長)いじめ、体罰、不登校等の問題が拡大し、教職員の負担、学校教育の責任もこれまで以上に大きくなっている。

② (再要望) **教育委員会には、課題が大きい学校教育に特化していただきたい。そうした意味からも、スポーツ・文化行政は市長部局に移管して取り組むことを要望する。**

1月～3月の活動 ● 今年の春は、暮れから2月頃まで寒かった分を取り戻すかのように足早に訪れています！



廃棄物の最終処分場を視察 (1/11) ● 富士市内で発生するさまざまな廃棄物(可燃ゴミの灰、埋立ゴミ、産業廃棄物等)を埋立処理している桑崎の最終処分場を、所属する会派・市民クラブで視察しました。平成15年から埋立が始まった第1期処分場(右)が満杯になり、現在建設中の第2期処分場(左)に25年度から埋立が始まります！処分場の延命化＝市民全員でのゴミの減量が求められています！



駿河台、津田・荒田島の「どんど焼き」(1/13) ● 駿河台(1・2・3丁目)は泉ヶ丘配水池で、津田・荒田島(1・2丁目)は島田公園で行われました。どちらも神事に則る伝統的な行事に加え、餅つきやおしろこ、豚汁などで、多くの皆さんが新年のスタートを祝いました。役員の皆さま、準備から片付けまで本当にご苦労様でした！



富士ドッグサポーターズクラブの児童見守り自販機第1号機 (1/15) ● 愛犬の散歩等に併せ子どもたち等の見守り活動を行っている富士ドッグサポーターズクラブ(設立時から小池が応援)が、緊急時に取り付けられたボタンを押すとサイレンと赤色灯が回る防犯機能を持たせた自販機を開発しました。この日は、第1号機が富士南小西側の富士南まちづくりセンター脇に設置され除幕式を行いました。



第33回今泉地区駅伝大会(2/24) ● 市内で唯一、公道を走る駅伝大会です。今年も小中学生チームを始め、一般の部ではさまざまな年代による町内会や趣向を凝らしたチームの参加で盛り上がりました！

日本一「紙のまち富士市」を全国発信！

陳情署名にご協力ください

6月議会で決議を目指す2項目 →

- 1 製紙工場の集積・家庭紙生産日本一の富士市
 - ◎ 二度と使うことの出来ないトイレトイレットペーパーは、古紙100%のトイレトイレットペーパーを使用し、消費に努める決議
- 2 古紙の再生・循環型社会の優等生日本一の富士市
 - ◎ 災害時に対応したダンボール製の間仕切り、簡易トイレやトイレトイレットペーパー等(いずれも古紙再生品)の備蓄を求める決議



日本一「紙のまち富士市」を全国発信する署名活動や視察 (2月～) ● 市民有志で組織する「紙のまちを考える会」では、再生紙トイレトイレットペーパー製造等を地場産業とする富士市を「循環型社会の優等生」として情報発信するために、本年6月議会で右の決議を求めています。そのための署名活動や、県富士工業技術支援センター等を訪問して製紙関連技術の見学会を行っています！紙を抄く技術はすごい！



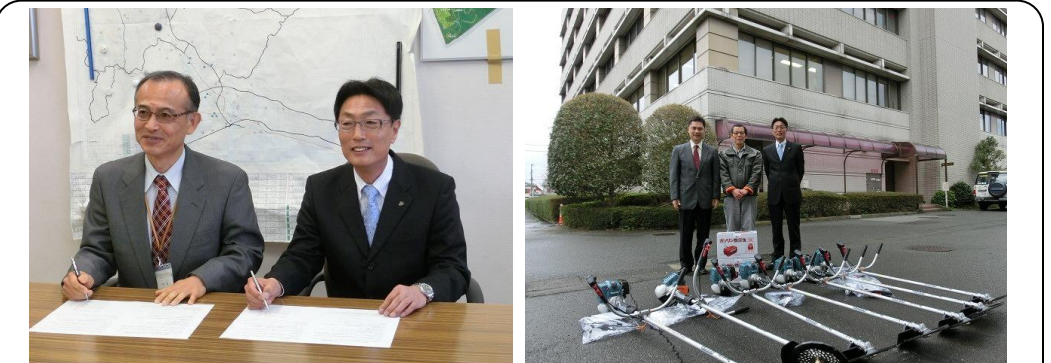
今川・武田・北条の三国同盟に思いをはせる「善得寺まつり」(3/3) ● 今泉地区まちづくり推進協議会が主催する地区最大の行事です。毎年このまつりに出席させていただくと「春が近づいている」と感じます。特設ステージは、三国同盟をテーマにした今泉小の子供たちによる「寸劇」や「よさこい」チームの踊りで大盛り上がりです！



先端医療総合特区の勉強会「静岡がん会議」(3/9) ● 医療健康産業が多数立地している静岡県東部地域(富士山麓の12市町)は、国の「先端医療総合特区」として認定され、新たな産業集積を目指しています。最新の医療技術や特区制度を活用した地域振興策を考える勉強会が静岡がんセンター(長泉町)で開催されました。富士市もエリアに含まれているのに、関係者の参加が少なかったのが残念です！



富士南地区の避難所開設・運営訓練を見学 (3/10) ● 今泉・吉原・広見地区の計7町内は、災害時の避難所が吉原高校です。誰でもが避難所の立上げ・運営に携われるように、現在「吉原高校避難所開設・運営マニュアル」の作成に取り組んでいます。その参考に、富士南地区の開設・運営訓練を、7町内の防災役員の皆さんと見学しました。「避難所に行かない＝自宅の耐震化」が最大のポイントと改めて実感！



小潤井川 友の会が静岡県とリバーフレンドシップ協定を締結 (3/14) ● 一昨年从小潤井川の草刈り・清掃活動を始めた「小潤井川 友の会」(津田・荒田島地区の有志で構成)が、県との間でリバーフレンドシップ協定を結びました。協定に基づき草刈り機等の資機材が貸与されました。これまで以上に清掃活動に力が入ります！

● ブログ(インターネット上の日記)を覗いて見て下さい。ほぼ毎日更新しています。検索は「小池としあき」で！ (<http://koike473.exblog.jp/>) ●